

## 2022 年度 基本方針

役職名	未来の懸け橋委員会	委員長	氏名	高橋理一
<p>創立から35年という歳月の中、霧島青年会議所は様々な活動を通して地域発展に取り組んできました。創始の想いを紡いできた先輩方や地域・関係各所の皆様方に感謝を表し、我々はより良き未来に向けて歩み続けなければなりません。人びとの価値観が変動する中で、明るい豊かな社会の実現に向け変革を起こし続けるには、青年会議所の存在意義を確立し、広い世代の方々に存在を認知してもらい影響力のある組織となる必要があります。</p>				
<p>まずは、青年会議所の存在意義を確立するために、過去5年間の活動について対内や地域の意見を調査し、委員会や例会を活用して30周年に掲げた未来ビジョンの検証を行い、今後我々が地域発展に取り組むためにどう在るべきか外部の方々と意見を交換し考え、未来への指標を構築することで進むべき方向性の意思統一を図り、今以上に地域から必要とされる組織へ成長させます。そして、若者を中心とした広い世代の方々に存在を認知してもらうために、SNS等を用いた広報活動や、記念式典のPRとして関係各所へのキャラバンを行い、式典当日の様子をWEB配信しコロナ禍でも過去実績以上の参加・視聴人数を動員することで、地域の未来を担う若者や市民の関心を向上させ、共感の輪を広げるための礎を築きます。さらに、影響力のある組織となるために35周年式典を開催し、先輩方や地域・関係各所の方々に敬意と感謝を表し、初志貫徹の気概をもって社会の課題を解決し続けることを誓うとともに、その機会を活用してこれまでの活動や未来への指標を強く発信することで、市民からの信頼と共感を獲得し、地域に圧倒的な存在感を示します。</p>				
<p>我々が初志貫徹の気概をもって社会の課題を解決し、今以上に地域から必要とされる組織へ進化し、効果的な広報活動により共感の輪を広げ、圧倒的な存在感を示すことで、青年会議所は地域とともに明るい未来へ新たな第一歩を踏み出すことができると確信します。</p>				